

－2009年春夏メンズ・スポーツブランド横断企画－
シャツ生地を使用したテーラードジャケット「ギガシャツジャケット」開発！
汚れの付着を抑える衣料品「ギガガード」を展開！

株式会社オンワード樫山 メンズ・スポーツ事業本部(常務執行役員事業本部長 鈴木 恒則)は、2009年春夏メンズ・スポーツブランド横断企画として、独自の縫製技術やノウハウを活用し、シャツ生地などの薄手素材を使用したテーラード仕立てのジャケット「ギガシャツジャケット」と汚れの付着を抑える衣料品「ギガガード」を開発しました。メンズ主カブランドで4月中旬から展開し、実需期における話題性の喚起と売上拡大をめざします。

メンズファッションマーケットでは、クールビズの浸透と、定年退職を迎えた団塊世代の増加によって、カジュアル化が進行し、「軽く羽織れる」「涼しい」などがファッションキーワードとなっています。

そこで当社では、2009年春夏のメンズ・スポーツ商品企画において、商品開発部、技術開発部門、オンワード総合研究所などが持つノウハウを活用して、シャツ生地などの薄手素材を使用したテーラードで軽く羽織れるジャケット「ギガシャツジャケット」を開発しました。また昨年に、汚れのつきにくいホワイトパンツとして展開して好評を得た技術を、新たに「ギガガード」とネーミングして、2009年から、取り扱いアイテムをジャケット、シャツまで拡大します。

■「ギガシャツジャケット(GIGASHIRT JACKET)」の商品ポイント

「ギガシャツジャケット」はシャツ生地等の薄手素材を使用したテーラード仕立てのジャケットです。肩パッドと芯地使用しないタイプは、家庭洗いが可能です。

①「軽く、涼しい」

シャツ生地など薄手の素材を使用することで、涼しく、軽く羽織れます。

②「テーラード仕立て」

薄手の素材でもテーラードに保つために、テープ使い、アイロンワークを地襟返し、アームホールなどに施し、副資材はシャツ生地にあう、軽く柔らかくて保型性のあるユキ綿、肩パッド、増芯を開発しました。主にビジネスブランドで展開します。

③「家庭洗いが可能」

家庭で洗えることを意識し、パターン設計と縫製のテクニックで、肩パッド、芯地使用しないタイプを開発しました。主にカジュアルブランドで展開いたします。

■「ギガガード(GIGA GUARD)」の商品ポイント

「ギガガード」は高機能複合防汚加工(当社新開発モノポリマー加工)により汚れの付着を抑制する衣料です。2008年春夏に一部のブランドのパンツで展開し、好評を得たことから、メンズブランド横断で展開し、ジャケットやシャツなどにも採用します。

①「撥水・撥油」

主成分である特殊シリコン樹脂は、水の分子より小さく、空気の分子よりも大きいという特徴を持っています。よって、水や油は素材表面では弾き、繊維の中への浸透を防ぎますが、通気性は確保されます。

②「SR性(放汚性)」

ポケット口などの汚れの原因である有機汚染物質(汗、皮脂汚れに含まれるたんぱく質等)を分解することによって、洗濯で汚れが落ちやすくなります。

③「消臭効果」

体の臭いの原因となるペラルゴン酸、カブロン酸、イソ吉草酸などの低級脂肪酸(RCOOH)を無臭化します。

④「紫外線遮へい効果」

温度を上昇させる紫外線を遮へいする効果があります。

⑤「PH(水素イオン濃度)コントロール効果」

汗の酸成分や酸性雨(PH5.6以下)を中和すると共に、常に加工布を肌に良いといわれる弱酸性状態(PH6.0前後)に保ち、アルカリ成分も中和します。

⑥「抗菌・防臭効果」

細菌の育成は、PH7.0前後で最も活発になるため、このPHコントロール効果で肌の表面に存在する細菌の繁殖を抑えることにより臭いの発生を防ぎます。

[▲ページTOPへ](#)